

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名）東京都西東京市立碧山小学校
- ・授業タイトル 温暖化で変わる海のさかなのくらし
- ・講師名 日下彰（水産研究・教育機構 中央水産研究所）
- ・派遣年月日 2019 年 9 月 2 日

派遣者コメント

東京都西東京市立碧山小学校において第 5 学年の 109 人の生徒さんに出前授業を行いました。

当校の第 5 各年では 2 学期以降に SDG'S の研究授業を行う予定ということで、担当教諭からは今回の出前授業はその研究授業の導入部として、授業を通じて生徒さんが水産資源の減少などの環境問題に関心を持つきっかけとなるような内容をというご依頼を頂いていました。

講演内容は、温暖化の海洋生態系への影響を主なテーマとし、当機構から公表されている刊行物や書籍、水産白書に記述されている温暖化の水産への影響に関する内容から適切なものをピックアップし、イラストや動画、新聞記事を盛り込みました。また、私からの一方的な話にならないよう、クイズなどを途中に挟みながら授業を行い、専門用語は極力避け、例えば「暖流」を「暖かい流れ」等、生徒さんが理解できるような言葉に言い換えて説明するよう努めました。

担当教諭から授業後に伺ったところ、生徒さんからは「授業で取り上げられていたブリやサケ以外の魚の温暖化の影響はどうか?」「植物プランクトンも光合成するのに光や栄養素が必要なことを初めて知った」「魚を守るための取り組みを調べたい」「温暖化を止めるためにはどうすればよいのか調べたい」などの感想が上がったようで、SDG'S の研究授業に向けて意欲が高まった様子を感じたというご感想を頂きました。生徒さんたちには、夏休み明けの初日で 2 学期の始業式を終えた直後である上に、残暑が加わるという、授業を集中して聞くにはやや厳しい条件だったと思いますが、そのような中でも授業内容に関心を持って頂けたようでとても嬉しく感じました。

最後に碧山小学校教職員の皆様、5 年生のみなさん、そして海洋学会関係各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

